



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です

事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
区議団控え室(品川区役所内) TEL5742-6818

区民の

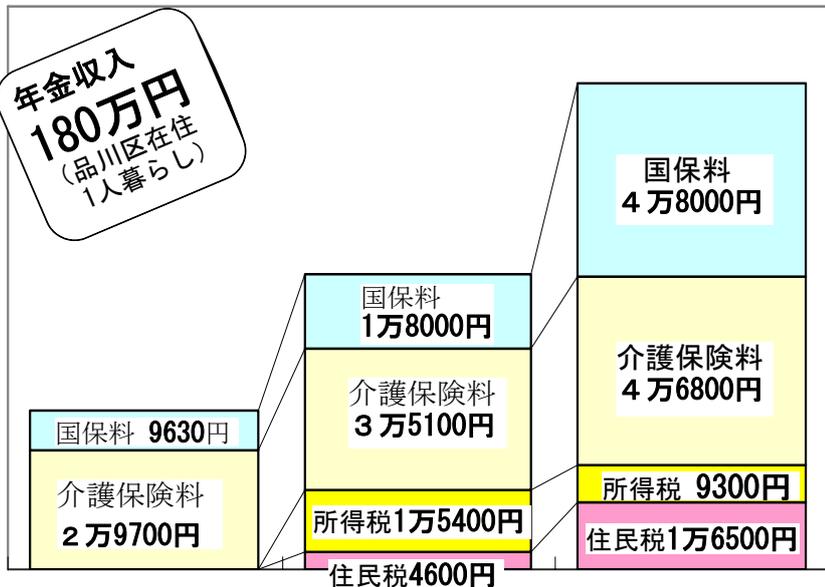
住民税・国保料の軽減を求める 請願に反対

自民・公明に、えーっ民主も反対!?! —品川区議会

口をそろえて、「増税ではない」「払うのは義務」の大合唱

これでも「増税されたというのは錯覚(公明党)」と言うの?!

(区議会が出された数字からつくったグラフです)



2年間でなんと**3倍**、**8万1270円**の負担増

6月25日、区民委員会で「住民税・国民健康保険料の軽減を求める請願」が審査されました。多くの区民からあまりの増税と負担増に驚きと怒りが噴き上がる中、自民・公明だけでなく民主・無所属クラブが反対して不採択としました。共産党は賛成の立場でがんばりました。

住民税増税に悲鳴 品川区に苦情・問い合わせ殺到

「住民税が2倍になってしまった」「やっと基本給が1万円上がった」と喜んでいたら住民税増税で手取りは減ってしまった」「食費を切りつめ、着る物も買わずに生活しているのにこれ以上どうすればいいのかわからない」「住民税の増税に区民から悲鳴が上がっています。」「いったい誰が決めたのか」「聞

違いではないのか」品川区に苦情・問い合わせが殺到、その件数は8300件にも及んでいます。

定率減税廃止を提案したのは「公明党」

「誰が決めたのか」街中に怒りがあふれています。定率減税（所得税で最高25万円、住民税で4万円。合計29万円）の廃止を提案したのは公明党です。2003年の総選挙の公約に年金への増税と共に定率減税廃止を掲げ、その後の国会で自民・公明が決定したものです。



9名の区民からそれぞれに品川区議会に出された「住民税・国保料の軽減を求める請願」―自民・公明だけでなく、民主も無所属クラブも反対。区民の悲鳴をどう考えているのでしょうか。賛成したのは共産党だけでした。区議会の発言の要旨をご紹介します。

自民党：鈴木真澄議員

「所得の少ない方は住民税の減税というが、所得税の中で対応もしていただいている部分が十分ある。国保に關しても所得の少ない弱者の減免措置はすでにやっている部分がある」

公明党：山路良成議員―税が上がったというのは錯覚

「定率減税が廃止になって、実際には税が上がっていないということだが、上がっていると錯覚をする。定率減税廃止になってもとに戻したわけです。増税じゃないわけですね。もとに戻ったわけですね。：増税というのは全く当たらない―恒久減税として始まった定率減税。公明党は廃止を言い出した責任逃れに終始しました。」



民主党：稲川貴之議員―ネットカフェ難民は賛沢

「税金は義務であるし、払うべきものはしっかり払うべきだ。」

1年前に、もうつらいんだ、何とかしてくれという話もあるが、1年後にあつたら普通の生活を

している。：庶民イコール税金が払えない、国民健康保険料が払えないというのは、私はそれは間違っていると思いますよ。：ネットカフェ難民という話はありませんでしたけれども、その話だつて賛沢じゃないですか。お金を払ってそこにいられるんだから―

民主党はマスコミ向けには「格差」を言いながら、区民の実態は見えていないのではないのでしょうか。もともと民主党は定率減税の廃止を主張、さらに消費税増税をすすめる立場です。



無所属クラブ：渡部茂議員

「これは不採択だと考えております。税金を納める私たちの義務でもありますし、そのために仕事を当然している。：国で決まったことであつて、動いているわけですから何とか自分自身も地域の広報マンになつてがんばっていききたい」

共産党：飯沼・安藤議員

は区民の実態を挙げ、定率減税廃止で確実に増税になっている。住民税・国保料の減免を行うべきだと主張。請願に賛成しました。

定率減税と共に導入された大企業の法人税減税と大資産家のための最高税率引き下げはそのままにされ、株で大もうけをした人への減税は07年度も延長です。共産党は

こんな不公平な税制を変え続けるために引き続きます。



無料 **法律・生活相談会**
8月23日(木)午後6:30~
鈴木ひろ子事務所
 中延2-11-7 TEL3783-8833

日本共産党

(参院選挙終了まで当ニュースの発行を休みます) 鈴木ひろ子